

令和7年度

『教育新聞』ご購入のお願い

我が国の教育界を代表する教育専門紙

教育のニュース・専門情報を網羅したメディア

週2回、最新の教育情報、有効な教育技術、時事課題等をお届けします。

◇ サービス版「愛知県版」は、県内の教育行事、研究指定校の研究概要、読者の声な

ど多くの情報をお伝えします。また、「管理職研修『審査論文をどう書くか』」や「愛

知県総合教育センター情報」「名古屋市教育センター情報」などもますますの充実です。

◇ 好評を博している「教師力・人間力」は、「若き教師への伝言」として若い教師へメ

ッセージを伝える内容へ、また、「心に響いたことば」は、令和2年度より「わたしを

支えたこの一冊」へと衣替えをし、さらに読者の皆様に感動と勇気を与えます。

学校経営の最高責任者である校長先生はじめ、教頭先生、教務主任、校務主任、研

究主任、学年主任、研究実践に意欲的な先生や若手の先生方、令和7年度につきまし

ても是非ご購入をお願い申し上げます。

・発行日 毎週 月・木曜日 (月7回)

※ 愛知県版は毎月末に付録として発行（無料）

・購読申込み 指定の期日までに、下記（A,B,C）から選択

・購読料 A「新聞版」……………月額2,800円(税込3,024)

B 「新聞版+電子版」 ……月額 3,500 円 (税込 3,850)

C 「電子版」 ……………月額 2,500 円 (税込 2,750)

令和6年度（本社通知）より。新聞用紙などの原材料の高騰、紙面製作にかかわる人件費の上昇等による経費増加に伴い、新聞版にかかわる購読料を改定（値上げ）させていただきました。なお、電子版購読料につきましたは据え置きです。

【教育新聞愛知支部・三河部各支局】

【事務局】 西三河地区 加藤 政幸 Tel.Fax 0564-53-2739

東三河地区 中村 則夫 Tel.Fax 0532-75-8455

【教育新聞の愛知県での歴史】

平成 2 年 ①都市及び町村教育長協議会長より、県小中学校長会に
「教育新聞三河支局」の開設を要請

②三河校長会で「支局開設の承諾」及び「購読者募集を
郡市校長会で行うこと」等を申し合わせる

平成 3 年 ①三河支局「購読募集開始」

②教育現況発信「愛知県版」の創刊…県版定期発刊は全国で愛知県のみ

平成 8 年～ 尾張支局開設

* 現在、県版は愛知の義務教育の貴重な資料として「愛知県公文書館」に収蔵！



【教育新聞を活用する良さ】



若手教師へ『教師は時として役者でありたい』と説く。それには、多様な情報を収集・選択して、多彩な言語を駆使する才知が必要であり、新聞記事には、そのための直近の現場情報や伝え方の事例が数多くある。また、記事は学校経営や指導における重要な素材そのものであるため『講話』や『通信』への引用・転用が容易である。

↓ 新聞記事活用！2つの良さ！



① 教育特化の最新情報（紙面版月7回、電子版毎日更新）で知見が広がる

・テーマ別で記事を整理して掲載（現時 8000 件以上の記事が閲覧可能♪）

- ①「学校の新型コロナ対策」 ②「オンライン授業」 ③「働き方改革」
- ④「PBL・探求型学習」 ⑤「GIGA スクール」 ⑥「教員免許更新制」
- ⑦「大学入試改革」 ⑧「教員採用試験」 ⑨「デジタル教科書」
- ⑩「少人数学級」 ⑪「教科担任制」 ⑫「教育格差」 ⑬「企画特集」 他



～今の教育の方向や言葉の意味を知っているのは強い～

② 教育情報や価値ある体験談などから教員としての専門性が向上する

- ・専門家の「オピニオン（意見・見解）解説」記事で教育動向を知り理解する
- ・県版記事の現場教師の「体験や生の声」は、良き事例として生かせる内容が多い
- ・コラム「鉄筆（全国版）」「こだま（県版）」から教育的視野が広がる
- ・「教育最新情報」「連載記事」等の活用で自己研鑽や現職研修が充実する

～見方・考え方が広がり、教育活動の作り方やその伝え方に説得力が増す～

【新聞記事から作成できる現場価値の高い研修資料】

- ・記事の蓄積・編集で、今必要で使い易い研修資料（教育財産）を作成できる

《電子版の利点（↓）を活用すれば記事の蓄積・編集はさらに容易に！》

利点①記事はコピーペーストできる ②コピーした記事に追記ができる

③電子版では過去記事も掲載される ④過去記事が時系列で並び見やすい

⑤ 検索機能で関連記事探しが簡単 ⑥記事講読が何時でも何処でも閲覧可

⑦最新情報を「メール速報」で即取得 ⑧登録機器以外別のパソコンでも閲覧可

「恒学歴」恒(つね)に学んだ知識・技能を積み重ね活かす教員へのお手伝い
